

市東さんの農地守れ・成田の米軍基地化阻止

3・25三里塚全国集会へ集まろう

朝鮮有事の日米作戦計画が秋までに完成する。柱は成田など空港・港湾の米軍による優先使用。米軍は今春にも現地調査

民間空港を使って戦場に向かう米軍。明日の成田に姿だ(91年サウジ)



願いします。

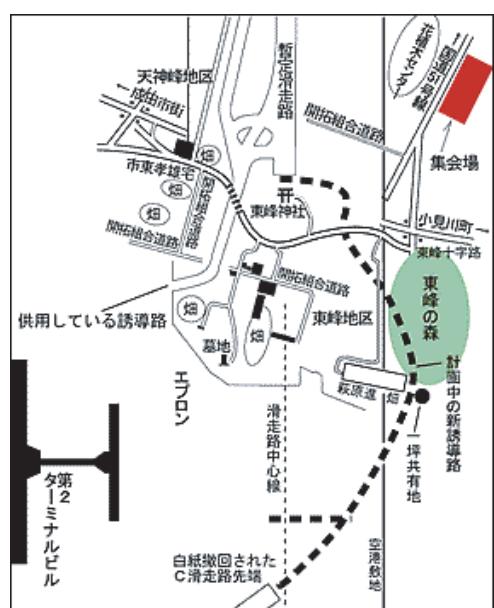
大結集をお
成田の現地調査に来ます。
3・25集会は、
憲法改悪の攻
撃に反対し、
戦争体制づくりと闘い、成
田の軍事基地化・米軍現地調査と闘う集
会です。

■朝鮮半島での緊張が高まる中、成田空港を米軍が優先使用する動きが本格化してきました。1月5日の読売新聞は、日米当局者が「朝鮮有事の作戦計画」で合意、「今春に現地調査」と報じました。しかも「計画の柱は米軍による成田など空港・港湾の優先使用だ」としているのです。私たちが警鐘を鳴らしてきた「成田の軍事基地化」が具体化しようとしています。米軍が3・4月、成田の現地調査に来ます。

3・25集会は、
憲法改悪の攻
撃に反対し、
戦争体制づくりと闘い、成
田の軍事基地化・米軍現地調査と闘う集
会です。



この豊かな農地を農地法で奪うことと
許してはならない(中央は市東さん)



【会場案内】成田駅からタクシーで東峰十字路へ／車は成田インターで降り日興ホテル手前から小見川県道～東峰十字路へ

3月25日(日)正午
成田市天神峰 同盟員所有地
《主催》三里塚芝山連合
空港反対同盟

う財界の農業つぶしがあります。

■「民営化による賃下げ攻撃」と農業つぶしは一体です。労働者と農民の連帯が切実に求められています。3・25集会は、改憲を阻止し「働く者が主人公」の社会にむかって大きな一步を踏み出す集会です。市東さんの畑に集まつてください。

■「農地法で農地を奪う「市東孝雄さんへの攻撃が重大な段階に入りました。松岡農水相は1月29日、県知事による「耕作権解約」を許可する決定を下しました。40年間、土地収用法を使って取れなかつた農地を農地法を使って取り上げるとは法律的にはありえない不当決定です。

■この背景には、改憲と戦争のために闘いの砦をつぶしたい政府の思惑があります。又「日本に農業はいらない」とい

三里塚芝山連合空港反対同盟

(連絡先) 事務局長・北原鉱治 成田市三里塚115 2007.3.18

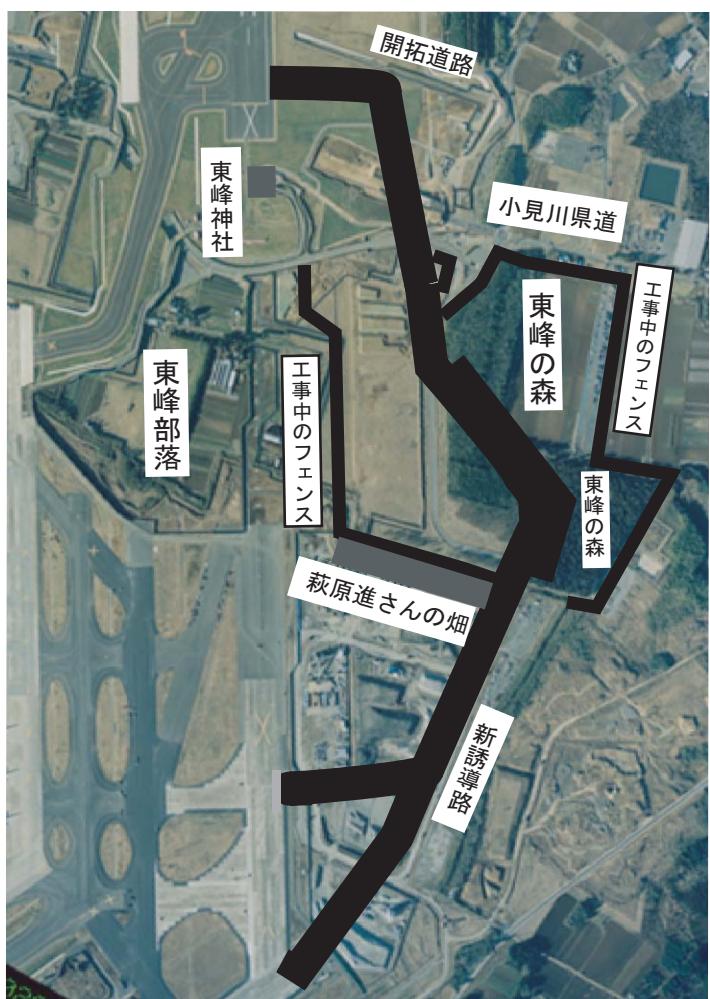
みなさん見てください！

これが滑走路北延伸の無理無謀

- ① 東峰の森を切り倒して部落を
“収容所”のように囲い込み

左の写真を見て下さい。2月26日から始まった東峰の森伐採の解説写真です。新誘導路ができれば部落の西半分は空港の中に取り込まれます。「まるで捕虜収容所」です。現在でも朝6時から夜11時まで、頭上40メートルをジェット機が「ガード下」以上の轟音をたてて飛んでいます（写真下）。まぎれもない国家犯罪ですが、その上にこういう暴挙を行しようとしているのです。

森は部落の命とも言うべき入会林です。空港会社は「東峰の森は残したい」と3度も文書で約束しました。それも踏み破っての森破壊です。こういう住民無視が40年もつづいてきました。だから空港は完成しないのです。私たちは国家犯罪を弾劾し滑走路の北延伸をやめさせ滑走路を閉鎖させるまで闘っています。



部落住民の反対の声をふみにじって強行されている東峰の森伐採の準備フェンス工事

③ ダイオキシン埋め立て？! ゴミ処分場を空港に転用

むりやり滑走路を北に延伸する結果、航空保安区域が成田クリーンパーク（市的一般廃棄物最終処分場）にぶつかってしまいました。中には大量のダイオキシンが埋まっています。09年の完成期限に追われる空港会社と成田市は、ダイオキシンを撤去することもなく埋め立てる計画ですが、これは違法です。

廃棄物処分場の閉鎖—廃止は廃棄物処理法にのっとって行われなければなりません。ダイオキシンが流れ出たら、空港を停止し掘り起こすでしょうか？ 垂れ流すに決まっています。

久住地区など北部住民は井戸水を使っています。クリーンパークのずさんな閉鎖に対して不安と反対の声が高まっています。小泉一成市長の責任が問われる大問題です。



ダイオキシンが埋まっているゴミ処分場。このまま埋め立てて空港保安用地にしようとしている

これは国家犯罪です！

住民の声

「市東さんの耕作権取り上げは日本の農業の未来のかかった問題です」（千葉市の一坪共有者）
「森の伐採・新誘導路の建設で地区の西半分は空港の中に取り込まれる。まるで収容所だ」（東峰区民）
「ダイオキシンを埋め立ててゴミ処分場を閉鎖することなど言語道断」（久住地区住民）



轟音をたて、住民の頭をかすめて飛ぶジェット機

④ 大騒音と村つぶし— 空港北部住民の怒り

飛行直下の久住地区などでは、部落が分断されようとしています。2002年の暫定滑走路開港の時には「もう北には伸ばさない」と約束しながら、破つて結局1キロ以上も北に伸ばされることになります。

「地域振興策を施すから」との甘言で、昨年8月騒音区域の線引きが強行されましたが、今年2月に発表された「振興策」とは、公民館を1個造るだけ。住民を住めなくしておいてそこに「公民館」とは？ 大騒音と地価下落……、犠牲だけを押しつける見切り発車は許されません。

現在でも上の写真のような危険かつ人権を侵害するジェット機飛行が行われています。暴力団以上の「地上げ」＝脅迫ですが、東峰区と空港反対農民は、追い出しへ負けず国家犯罪を告発する道を選びました。困った空港会社は、暫定滑走路の北延伸を強行して、もつと騒音の激しいジャンボ機を飛ばそうとしているのです。その130デシベルの大騒音と風圧、振動、圧迫感は殺人的です。

「北延伸しても意味はない」「滑走路は南に伸ばすべき」と空港会社・黒野匡彦社長は言い放っています。では、何のための北延伸？ ただ、東峰区住民を追い出すためです。